

第126回: 薫事長に事故又は誤字あるときは

先日銀座7丁目のビアホールで夏開きの宴を張ったとき、酔眼朦朧の友人が「生ビールは夏の季語だが、枝豆は秋の季語、君たちにこの理由が分かるかね?」と、くだを巻き始めた。八釜しいので適当に聞き流しておいたが、彼は委細構わず気持ちよさそうに、旧暦と新暦の時間差の関係で、枝豆の収穫時期は立秋のあとだから等々ウンチクを何度も繰り返していた。

運が良いのか悪いのか、彼はいま大企業の社長をしており、その日に株主総会を終えたばかりであった。同日夜は役員懇親会があった筈だが、この日だけは気の置けない昔の友人達と飲みたかったようで、向島方面の料亭を早めに辞して銀座の居酒屋に急行し、気が緩んだのか赤ワインの二三杯で、あっという間に酩酊してしまった。時節柄何かと苦勞も多いようで今年の株主総会は相当緊張したらしい。減収減益に加え、マスコミに目をつけられている個別案件があるらしく、6月は全役員に対し非常事態宣言を発し、紅灯の巷への立ち寄りを自粛するよう申し渡したそうだ。サラリーマンにとって、6月はボーナスが支給される楽しい季節だが、経営者にとってはやや鬱陶しい時期のようだ。

日本の会社では株主総会が終わり次第、第一回の取締役会が開かれ、そこで新経営陣の陣容が決まる。企業トップに欠員や事故が生じたとき、その職務を代行する順番が定められ、その序列に応じて副社長や専務常務といった役職も決まる。日本では取締役のなかで会社の長(トップ)を社長、取締役会の長を会長と呼ぶ。ところが日本の場合、官庁では古典的な役職名が好まれるようで、外務省や警察庁のトップは省長、庁長ではなく、大臣・長官と呼ぶ。大臣の下は次官である。明治維新に勝利した薩長土肥の足軽雑兵輩が天下を取って有頂天になり、むかしの大臣(おとど)・長官(かみ)・次官(すけ)に自分たちを重ね合わせたのだろう。もしヨレヨレの民主党政権が崩壊し、日本共産党が政権を取ったら官庁の役職は即刻変えられるだろう。共産党が命名すると、外務大臣が外交部主任、警察庁長官は公安部書記かな。

中国では、外務大臣に相当する職位は「外交部長」であり、部の下に局、局の下に課(科)が置かれ、その責任者を局長、科長と呼ぶ。さすがは社会主義国だけあり中国の官衙官僚の呼称は日本より遥かに民主的だ。中国の外相といえば、子供のころニュース放送でアナウンサーがチンキ、チンキ・チンキガイショウと連呼するのを聞いて変な名前があるものだと思った記憶がある。恥ずかしながらチンキとは第三野戦軍の陳毅元帥、新中国初代の上海市長だと知ったのは、銀行に入り上海に留学してからのことだった。

中国では官庁や党組織は日本と違って実用的で謙虚な肩書を使用しているが、企業では状況が異なる。中国で株式会社を「股份有限公司」と称するが会社の長は司長ではなく総経理、取締役会の議長は董事長と呼ぶ。この二人、どちらが上席かと云えば中国民法で定める「法人を代表して職権行使する法定代表者」が誰かによる。中国では董事長が法定代表者を勤めるケースが多く、例えば中国の国有銀行では昔から行長が最高責任者と決まっていたが、株式会社に転換し上海や香港に上場するようになってからは主役が董事長になり、行長は日常業務や対外活動を総覧するが、最高経営責任者は政務党務を主管する董事長と

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

する企業が多いようだ。

何れにしても中国に会社が復活したのは最近のことであり、裸一貫から身を起こした経営者は、口では共産党万歳と云いながら、戦前の虚栄と欲望渦巻く魔都上海に暗躍するチョウ・ユンファ(周潤発)のような大老板(ボス)に憧れる俗物が多く、映画「上海グランド(上海灘)」を気に入り、総裁と呼ばせる会社もある。

総経理と董事長、社長と会長、どっちが偉くても構わないが、企業経営者には戦前の甘く危険な香り漂う「董事長」に憧れる人が多いそう。因みに董事長の「董」は監督を意味するが日本では馴染みが薄く、すぐ思い浮かぶ「董」のつく単語は「骨董品」くらいだ。だから誤読も生じる。むかし日本の取引先メーカーが蘇州工場を設立することになり、開所式に来賓の一人として呼ばれたことがある。中国の工場開所式は殷賑を極め、鉦太鼓に銅鑼が打ち鳴らされ縁起を祝う獅子がひとしきり舞い躍ったあと主催者挨拶や来賓祝辞が始まる。冒頭主催者挨拶が「それでは弊社クンジチョウの誰某よりご挨拶申し上げます」で始まり、続いて呼ばれた本人が「ただいまご紹介に預かりましたクンジチョウの何某でございます」と応じ、雑壇の駐在員達はひたすら俯いてスピーチに耐えたことがある。いまでも董事長を薫事長と読み間違えるチョンボは結構多いようで、筆者のPCでグーグル検索すると「薫事長」が 23,300 件ヒットする。もっとも、薫風馥郁たる薫事長のほうが優雅な名称のような気がするが。

約8000万人の中国共産党員の頂点に立つ最高指導者の肩書は、むかし主席、いまは総書記である。毛沢東の正式な肩書は中国共産党中央委員会主席、江沢民や胡錦濤は同・総書記である。胡錦濤の肩書は他にもあり、国家指導者としては中華人民共和国主席(国家主席)である。中国は共産党が指導する国であり、国家主席より党総書記の方が上級権力機関だが「中国共産党総書記が日本国天皇陛下に謁見した」では外交プロトコルに問題があるので、両国のマスコミは国家元首として大統領職に相当する国家主席(President of the People's Republic of China)という呼称を優先使用するのである。

因みに1966年、文化大革命が勃発したころの中国の権力構造は複雑で、名目上は毛沢東が党主席、劉少奇が国家主席、鄧小平が党総書記であった。当時毛沢東は大躍進政策の失敗の責任を取り半分引退状況に追い込まれており、その実態は毛沢東が名誉主席、劉少奇が党主席、鄧小平は日常業務を主催する事務局長といったイメージであった。周恩来は行政トップの首相であり、党内では中国のナンバー2として劉少奇と鄧小平の間に位置していた。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年7月2日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本^の常識は中国^の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。